

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

団体・学校名	尚絅学院大学
連絡先	(電話) 022-381-3502 (FAX) (e-mail) k_sasaki@shokei.ac.jp (連絡担当者: 佐々木健太郎) (ホームページ) https://www.shokei.jp/

1. 助成事業報告

事業名	笑顔でつなぐ SDGs七夕飾りプロジェクト
目的	(1)七夕飾りの制作を通して、普段関わることの少ない特別支援学校に通う子どもたちと一般市民が協力して作業を行うことによって相互理解を図ることや、より多くの人に障がいに関する理解を深めること。 (2)障がい児やその家族のコミュニティの輪を県内全域に広げ、交流活動や子どもたちの仲間作り・居場所作りのきっかけを作ること。
実施内容	- 各協力団体と連携のもと、知的障害特別支援学校の児童生徒及び一般市民から短冊を集め、8月6～8日の仙台七夕(アーケード内)への出展に向けて吹き流しを制作した。 【吹き流しの制作】 - 依頼配布型(特別支援学校等の児童生徒に短冊を配布)、設置型(公共の施設に短冊を設置、該当イベントでの短冊の収集)、集合型(制作活動のワークショップの開催)の3種類の形態を組み合わせて進めた。子どもたちから集めた作品を大学生が中心となって組み立て、吹き流しを完成させた。 【吹き流しの展示】 - 仙台七夕まつり終了後、ユアテックスタジアム仙台、各支援学校等に吹き流しを貸し出し、展示した。 - 各種活動報告会にて取組みの内容を発表した。 【吹き流しの再利用】 - 障害福祉施設と連携し、吹き流しを新たな製品に再生させた。

開始から終了までの流れ	4月：七夕に関する研修(制作方法等), 吹き流しのコンセプトの検討 5月：吹き流しデザインの決定 6月：【依頼配布型】各支援学校への案内送付 【設置型】本学主催 SDGs マルシェ、ベガルタ仙台主催 イベント等での短冊回収。 東北地区特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会研修会での実践報告 7月：【集合型】吹き流しワークショップ開催 (2回) (尚絅学院大学地域連携交流プラザ, ゆりが丘児童センター) 【依頼配布型】各支援学校から短冊の回収 大学での吹き流しの制作 8月：仙台七夕まつり出展, ユアテックスタジアム仙台に展示 9月～：県内特別支援学校への吹き流しの貸し出し(計5校), 仙台市特別支援教育フェスティバル出展, 共生社会 コンファレンス in みやぎ(宮城県教育委員会主催イベント)出展 2月：吹き流しの解体, 再利用に向けた準備 古紙再生作業に取り組む障害福祉施設を視察, 再利用の依頼
活動の成果と教訓	各支援学校および一般市民から合計 1,000 枚の短冊を集め、吹き流しを制作し仙台七夕まつりに出展することができた。活動 2 年目となり、支援学校の児童生徒や保護者より「今年も楽しみにしていた」との声を聞くことができた。仙台七夕まつり当日には、障害のある子どもたちが吹き流しを見に来る姿が見受けられ、障害のある子どもやその家族の地域参加の一助となったと考えられた。仙台七夕まつり以降も、各支援学校等での展示を実施した。今年度から視覚支援学校と聴覚支援学校にも短冊の作成を依頼した。特に、視覚障害のある子どもたちが、仙台七夕まつり当日に現地で楽しめるような工夫を十分の行えなかったことが課題として残った。
今後の展望など	今年度も年度末に吹き流しのリサイクルを依頼すべく、南三陸にあるのぞみ福祉作業所に訪問した。利用者さんとのふれあいを通じて、障害の有無に関わらない安心できる場の大切さを体感することができた。この経験を学生で共有できたことは大きな成果だった。ここで感じた気持ちを次年度の七夕飾り制作を通じて多くの人に伝えていきたい。また、デザイナーさんとの打合せも持つことができ、リサイクル製品を使ったワークショップの方法も具体化することができた。障害の有無に関わらず多様な人との輪をさらに広げていきたい。

2. 助成金使途報告書

(1) 収入の部（助成の対象となった事業の分のみ）

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎスマイル基金	300,000	
東北ろうきん 20 周年 記念事業未来へのタスキ	100,000	
合計	400,000	

(2) 支出の部（助成の対象となった事業の分のみ）

※予算額は、申請時のものを記載しております。

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの 支出額	領収書 No.
材料費	七夕飾り材料等	250,000 円	163,486 円	163,486 円	
広告費		100,000 円	0 円	0 円	
郵送費	レターパック、切 手代等	60,000 円	24,804 円	24,804 円	
ワークシ ョップ会 場費		30,000 円	0 円	0 円	
活動保険 代		10,000 円	0 円	0 円	
古紙リサ イクル代	スマホカード等製 作	150,000 円	171,600 円	111,710 円	
その他	手数料(宅急便発 送料、駐車場代等)	0 円	40,110 円	0 円	
合計		600,000	400,000	300,000	

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

*収入の合計と支出の合計が一致していることをご確認ください。

3. 送付必要書類

(1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書

(2) 領収書のコピー（助成金から支出した分のみ）番号を振ってください

(3) 成果物（活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真※など）

（※写真は HP・SNS 等に掲載可能なものを送付ください。）

笑顔でつなぐSDGs七夕飾りプロジェクト

障がいの有無に関わらず、
みんなが笑顔で暮らせるまちづくりを

本プロジェクトでは、宮城県内の特別支援学校の児童生徒及び一般市民から笑顔の短冊を集め、世界に一つだけの七夕飾りを制作しました！この吹き流しの下で、たくさんの笑顔があふれることを願っています！

みんなの笑顔の写真や
イラストを一枚一枚
貼り合わせました！



子どもたちの手も
加わっています！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※本プロジェクトは、「みやぎスマイル基金」の助成を受けています。

〈共催〉

障がい者サポーターズ Golazo! (知的障がい児・者保護者による支援団体)、尚絅学院大学、
宮城県知的障害支援学校PTA連絡協議会

〈協力団体〉クリスロード商店街振興組合、特定非営利法人エイブル・アート・ジャパン、
鳴海屋紙商事株式会社、のぞみ福祉作業所、HUMO RABO

たくさんの人の力で吹き流しが完成しました！！

昨年度の取り組みを通じて、新たな出会いがたくさんありました。より多くの人の笑顔、想いをつないでいきます！



紙の再生を行っている、
のぞみ福祉作業所のみなさんと
出会いました。

のぞみ福祉作業所と
HUMORABOの協力の下、
昨年度の吹き流しがポストカード
と名刺に生まれ変わりました。



今年度も職人の方にアドバイスを
いただきました。

設置型

仙台市内で行われた各種イベントにて、
市民の方から短冊を集めました！



集合型

ワークショップを通じて、吹き流しの色付けを
行いました！



最終的に約1000枚の短冊が集まりました！
みんなの笑顔、願い、祈りがつ
まった七夕飾りが完成しました！！
ご協力、ありがとうございました！！

依頼型

宮城県知的障害特別支援学校PTA連絡協議
会の協力の下、県内の特別支援学校から約
800枚の短冊が集まりました！



今後の活動も随時
Instagramにて
アップしていきます！



@SMILE_TANABATA_PROJECT